|  |
| --- |
| **１１・３憲法集会in京都　緊急決議**  **これ以上のガザ市民への殺戮行為は許さない！**  **イスラエルとハマスは国連決議に従い即時に停戦せよ！** |

本年１０月７日、パレスチナのイスラム組織ハマスがイスラエルに大規模な

攻撃を行い、イスラエル当局によると、１４００人が殺害され、２４０人が人

質として拉致された。

　　これに対し、イスラエルは、自衛権の行使と称し、ハマスを壊滅するとして、

ハマスが実効支配するパレスチナの自治区ガザを完全封鎖し、激しい無差別空爆

と地上侵攻を拡大し続けている。

　ガザの保健当局によると、イスラエルの軍事行動によるガザの死者は８７９６　　人に達し、その内の３６４８人、約４割が子どもである。女性や高齢者を含める　　と、非戦闘員の死者が８割近くとなっており、一般市民の犠牲を何とも思わない　　国際人道法違反の軍事行動が強行されている。加えて、イスラエルによる完全封　　鎖により、ガザ地区内の燃料、食料、水、電力、医薬品が遮断され、欠乏し、国　　連パレスチナ難民救済事業機関のラザリーニ事務局長は、まもなく大規模な健康　　被害が起きるだろうと警告している。ガザは、イスラエルの軍事行動によって壊　　滅的な事態に立ち至っており、２００万人を超えるパレスチナ人民の全ての命の　　危機が深まっていると言わなければならない。

　国連総会は、１０月２７日、緊急特別会合で、敵対行為の即時停止につながる　　永続的かつ持続的な人道的休戦を求める決議を１２１か国の賛成で採択した。決　　議提案者となったヨルダンが強調したように、ハマスによる攻撃が国際法に違反　　するものであるからといって、自衛権の名のもとに、イスラエルの国際人道法違　　反の完全封鎖、無差別空爆、地上侵攻が正当化されることには決してならない。

　　イスラエルによるガザのパレスチナ人民に対する軍事行動は、残虐非道な大量　　殺戮行為そのものと言うべきである。

　本集会で私たちは、平和な世界、一人ひとりが大切にされる社会を実現するた　　めに、世界の人たちともご一緒に手をつないで前に進んでいく意思を表明した。

　　その第一歩として、ユダヤ人も、アラブ人も、ムスリムも、クリスチャンも、　　一人ひとりのいのちが大切にされ、尊厳をもって生きられる社会を実現していく　　ために、世界の人々と力を合わせる決意を込めて、これ以上のガザ市民への殺戮　　行為は許さない！イスラエルとハマスは国連決議に従い即時に停戦せよ！との声 を緊急決議とする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０２３年１１月３日

　　　　　生かそう憲法　守ろう９条　１１・３憲法集会in京都　参加者一同